

つり橋の村



谷瀬のつり橋

日本一、面積の広い村が奈良県にあることを知っているだろうか。

奈良県の南部に位置する十津川村は、琵琶湖とほぼ同じぐらいの広さを有する、日本で最も面積の広い村である。

この十津川村には、実はもう一つの「日本一」がある。「谷瀬たにせのつり橋」である。長さ二九七・七メートル、高さ五四メートルの「谷瀬のつり橋」は、生活道路として使われている鉄線のつり橋としては日本一の長さと言われ、初めてこのつり橋を訪れた観光客は、その高さに圧倒される。つり橋を怖々こたこた渡る観光客がほとんどだ。

このつり橋から、眼下を流れる十津川を見下ろすと、川幅に比べ、ふつり合いなほど広い川原があることに気付く。実は、昔そこには家や田畑があり、人々が住んでいたのだ。

今から約百年前の明治二二（一八八九）年夏、村は大水害に見舞われた。百六十八人もの人々が命を失い、多くの家や田畑が水に飲



北を望むフキの像

み込まれたのである。現在の広い川原はその名残^{なごり}であり、当時の様子は、明治の大水害として『十津川郷の昔話』に生々しく語られている。

この大水害で家や田畑を失った村人たち約二千六百人は、新たに生活する土地を求め、北海道を目指した。現在の北海道樺^{かほ}戸郡新十津川町は、北を指した十津川村の人々が、多くの困難を乗り越えてつくった町である。

五條市出身の児童文学作家である川村たかしさんは、このことに材をとり、九歳の少女、津田フキを主人公とした小説『新十津川物語』を著した。新十津川町には、主人公フキの像が遠く故郷十津川を望んで建てられている。また、十津川村の役場前には、新十津川町から贈られた「北を望むフキの像」がある。

十津川村と新十津川町。二人のフキは遠く奈良と北海道の地をへだてて互いに見つめ合い、二つの村と町のいつまでも変わらない連帯を象徴している。

野 猿

明治の大水害の後も、十津川村では大雨が降ると度々、架けていた丸木橋が流され、村人たちは「野猿」と呼ばれる人力のロープウエーで川を渡るなどの工夫をしてきた。

「何とか安心して渡ることのできる橋を架けたい。」

村の人々の強い願いのもと、みんなでお金を出し合い、昭和二九（一九五四）年にとうとう完成をみたのが「谷瀬のつり橋」である。それから五十年を経て、現在では村外から多くの人々がこのつり橋を訪れ、村一番の観光名所となっている。もちろん、今もなお、村の人々にとって生活のための大切な橋であることにかわりはない。

私たちの十津川村。十津川村立小原中学校の生徒たちは、多くの人々に十津川村を訪れてもらい、その素晴らしさを知ってもらいたいと、「十津川生き生きプロジェクト」を計画し、グループに分かれて様々な活動を行っている。あるグループは、「谷瀬のつり橋」以外にも、村内には多くのつり橋があることから、「つり橋の村」として十津川村を紹介しようとして調査を始めた。村内全域のつり橋の情報を集め、実際にその場所に足を運ぶ。そうして、橋の上から実際にメジャーを垂らして橋の高さを測ったり、橋の架けられた時期や経緯を聞き取ったりするなど、一年間で五十四か所ものつり橋を調査した。

村内には思った以上に多くのつり橋があり、生活の橋として大切にされていることを知った生徒たちは、そのことを村を訪れる人たちにも知ってほしいと考えた。そこで、つり橋めぐりのスタンプリーを企画したのである。

多くのつり橋の中から、訪れやすい、景色がよい、村内全域をめぐることができるとの観点から代表的な九つのつり橋を選ぶとともに、地図やスタンプ、景品などを手作りして、この企画を村に提案したのだ。提案を受けた村役場の人たちも、「村内にこんなにたくさんつり橋があるということは、村民もあまり知らなかったのでは。」と驚き、現在、このスタンプリーの企画実現に向けて検討が進められている。

生徒の一人は、村のつり橋を調べる中で、次のように言っている。

「つり橋に対する見方がかわった。たくさんの人々に村の宝物であるつり橋を知ってもらいたい。」
日々の生活の中では案外気付かず、これまで当た



企画を村に提案する小原中学校の生徒たち

り前のように思ってきた郷土の風物が、じつくりと調べたり郷土の人々の思いにふれたりすることをおして、実はとても素晴らしいものであることに気付くことがある。

そんな郷土との「出会い直し」が、生徒たちの心中に自分たちの「十津川村」を大切にしたいという思いを、今、大きくふくらませているのである。



二人のフキ

○ 新十津川町の人たちが、「北を望むフキの像」を十津川村に贈ったのは、どんな思いからだろうか。

○ 小原中学校の生徒たちは、つり橋を調べながら、どんなことを考えていただろうか。

※ その後、このスタンプラリーの企画は実現しました。多くの観光客が、生徒たち手作りのスタンプカードを持って、十津川のつり橋めぐりを楽しみました。



スタンプラリーのポイント

奈良県教育委員会

<http://www.pref.nara.jp/gakko/> (学校教育課Webページ)

